

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	神経の機能温存に留意した動眼神経鞘腫に対する手術アプローチ	
1. 研究の目的と方法	<p>動眼神経鞘腫は非常に稀な疾患で、特に手術治療が行われ報告されているものは世界的に100例もありません。動眼神経は脆弱で少し触っただけでも術後に動眼神経麻痺が生じますが、数ヶ月で回復することもわかっています。したがって動眼神経鞘腫の制御と機能温存の両立を目指す上では、手術直後ではなく中長期的な治療成績が重要と考えます。</p> <p>本研究は当院で手術治療を受けた動眼神経鞘腫の方と、過去に医学論文で報告されている方のデータを併せて中長期的な治療成績を評価します。</p>	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	2019年1月1日から2024年12月31日までの期間において、東京慈恵会医科大学附属病院で動眼神経鞘腫の手術治療をうけた成人の方（未成年は含みません）。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	年齢、性別、症状、部位、腫瘍のサイズ、摘出率、術直後の動眼神経症状とその後の回復の有無、再発
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。	
	(1) 当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名 東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 氏名 石川耕平
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥
	(3) 当施設の試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 石川耕平
	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026年1月頃～
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 脳神経外科学講座 研究責任者：助教 石川 耕平（いしかわ こうへい） 電話番号：03-3433-1111（直通）（内線3461） 対応時間：平日 09:00 ~ 16:00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。